

2026年度（公財）日本ICTテレコムユーザー協会 両砺地区協会 定時理事会 議案

2026年 7 月 28 日

両砺地区協会 定時理事会

— 議 案 目 次 —

第1号議案	
(1) 2025年度 事業報告	1
(2) 2025年度 収支決算報告	6
(3) 2025年度 会計検査報告	8
第2号議案	
(1) 2026年度 事業計画(案)	9
(2) 2026年度 収支予算(案)	11
第3号議案	
役員等選任	12
報告事項	
協会名称変更について	13

2025年度 事業報告

2025年度は、公益事業推進の観点からICT活用推進事業（各ICTセミナー、会員向けITサービス、会報誌「テレコムフォーラム」等による情報提供）並びにテレコミュニケーション教育事業（電話応対コンクール、電話応対技能検定、電話応対等の研修）を通じて、会員企業はもとより広く地域の事業所等における I C T の利活用を推進、支援を積極的に行うとともに、テレコミュニケーション分野での人材育成の支援を積極的に行うことにより、地域社会の発展に貢献することを目的に事業を展開してまいりました。

2025年度の具体的な実施状況は以下のとおりです。

1. ICT活用推進事業

I C T 活用推進事業において、富山支部主催の I C T 関連セミナーでは、知識よりも実際に操作して体感していただくことに重点を置き、生成 A I や A R（Augmented Reality：拡張現実）・V R（仮想現実）の体験型セミナーをはじめ、事業所における情報システム担当をサポートする講座や中小企業等が直面する S N S リスク対策に関する講座など現業に直接的に関係するセミナーを実施いたしました。（別表 1 参照）

一昨年から本格稼働したオンライン方式による全国参加型 I C T セミナー／I C T 講座では、関心度が高いテーマを選定し積極的な情報発信に努め、会員事業所の皆さまをはじめ多くの方々に参加いただきました。

全国的な傾向としては、特に情報セキュリティ対策や生成 A I に関する関心度が高いことがうかがえます。また、全国型セミナーへの県内企業からの参加は、セミナーPR方法に課題がありつつも、一定の成果をあげることが出来ました。（別表 2 参照）

また、会員事業所向け無料特典の e ラーニングサービスや標的型攻撃メール予防訓練サービスでは、県内の一定の事業所の皆さまにご利用いただき、また、支部別の利用率では全国でも高水準（eラーニング：1位／47支部、標的型攻撃メール：6 位／47支部）にあるものの、更にご利用いただける事業所数（利用者数）の拡大とサービス内容の充実に取り組んでいく必要があります。（別表3参照）

■ 富山支部関連ICTセミナー (別表1)

実施日	テーマ等	参加者数
7/25～ 8/29 (合計 4 回)	●富山支部・地区協会 理事会連動セミナー 生成AI体験セミナー/AR・VR体験セミナー NTT西日本富山支店	66
10月21日	●ICT Solution Days連動セミナー（NTT西日本富山支店共催） 【第1部】「今後の政治・経済をどう読むか」 経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏 【第2部】「情シス担当者のお困りごと、助けます！」 NTTビジネスソリューションズ スマートビジネス営業部 森本 信次 氏	59
3月5日	●ICTオンラインセミナー 中小・小規模企業が直面するSNSリスク 国際大学GLOCOM客員研究員 小木曾 健 氏	41

(別表2)

■2025年度 全国型ICTセミナー／ICT講座（オンライン）

項目	開催日	テーマ・講師等	参加人数 全国 （富山）
全国型ICTセミナー	5月21日 （水）	【第1部】「地域を支える力ー中堅・中小企業が創る未来のまちづくりー」 講師 事業構想大学院大学 学長 田中 理沙 氏 【第2部】「NTTアーバンソリューションズグループの街づくり」 講師 NTTアーバンソリューションズ㈱執行役員 中根 毅弘 氏	837 （6）
	7月9日 （水）	【第1部】「あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに『日本の農業・食料問題』を学ぼう」 講師 大前 研一 氏(ビデオ)、丹羽 亮介 氏(㈱マインドシーズ代表取締役) 【第2部】「『農業×ICT』を通じた地域経済の活性化や街づくりを目指して」 講師 ㈱NTTアグリテクノロジー 代表取締役社長 酒井 大雅 氏	1,393 （9）
	9月8日 （月）	【第1部】「『変革の時代における新たな地図』～生成AI活用で導く成功へのナビゲーション～」 講師 NTT西日本㈱ビジネス営業本部エンタープライズビジネス営業部 伊東 孝司 氏 【第2部】「AI時代における人間の脳の役割」 講師 脳科学者 茂木 健一郎 氏	1,875 （14）
	11月19日 （水）	【第1部】「リモートワーク、働き方の未来について」 講師 元㈱キャスター取締役CRO（公）山田進太郎D&I財団COO 石倉 秀明 氏 【第2部】「生成AIの活用によって変わる働き方とは」 講師 日本マイクロソフト㈱ SME&C事業部 高岡 晴義 氏	901 （7）
	2026年 1月22日 （木）	「2025年の振り返りと2026年の展望」 講師 大前 研一 氏(ビデオ)、丹羽 亮介 氏(㈱マインドシーズ代表取締役)	1,948 （11）
	2026年 3月25日 （水）	【第1部】「生成AI時代に日本が勝つ方程式～個の力と組織論～」 講師 株式会社今治、夢スポーツ代表取締役会長 元サッカー日本代表監督 岡田 武史 氏 【第2部】「生成AI新時代、ビジネスと業務はどう変わるのか？」 講師 株式会社GenesisAI 代表取締役社長/CEO 今井 翔太 氏	1,498 （10）
全国型ICT講座	4月16日 （水）	【第1部】「リコーグループにおけるAI倫理の推進」 講師 ㈱リコー 技術経営センター倫理統括室長 廣野 元久 氏 【第2部】「ユーザ協会で簡易RAG連携構築してみた～特典や独自調査事項の紹介含め～」 講師 （公財）日本電信電話ユーザ協会本部事業推進部担当部長 稲留 憲太郎	373 （4）
	6月19日 （木）	【第1部】「サイバー空間における脅威の情勢とランサムウェア攻撃から学ぶセキュリティ対策」 講師 警察庁サイバーセキュリティ対策本部 担当官 【第2部】「基本から再認識！今日から直ぐできるサイバーセキュリティ対策の基礎知識【第2弾】」 講師 （公財）日本電信電話ユーザ協会近畿事業推進部長 川畑 文雄	805 （5）
	8月28日 （木）	【第1部】「デジタル化すべき業務の棚卸しとノーコードツール、生成AI等を活用したデジタル化の推進」 講師 （公財）日本電信電話ユーザ協会西日本ICT推進部長 佐々木 一敏 【第2部】「ノーコードで変わる！業務効率化の新しいカタチ」 講師 ㈱インターパーク 【第3部】「業務自動化にIT人材は必要ない？～誰でも簡単に使えるRPAとは～」 講師 ブルーテック㈱	711 （6）
	10月30日 （木）	【第1部】「サイバー空間をめぐる脅威の情勢、身近な生活に潜む特殊詐欺の最新手口」 講師 警察庁サイバーセキュリティ対策本部 担当官 【第2部】「攻撃される前に動く！経営層が知っておくべき脅威と対策」 講師 NTT東日本㈱東京東支店第二ビジネスイノベーション部 長谷川 誠 氏	721 （10）
	12月19日 （金）	【第1部】「DXとデータ経営によって企業と人を元気に変革するストーリー」 講師 ㈱褒びや 代表取締役社長 ㈱EBILAB 代表取締役CEO 小田島 春樹 氏 【第2部】「人手不足時代を乗り越える処方箋ーDXとAIで築く“持続する組織力”」 講師 ㈱NTT Humanex HCMソリューション営業部 石倉 辰也 氏	408 （3）
	2026年 2月19日 （木）	【第1部】「中小企業の情報セキュリティ対策」 講師 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター 【第2部】「電話環境でもセキュリティ対策を！」 講師 トビラシステムズ㈱営業企画部営業1課シニアアカウントマネージャー 横尾 孝男 氏	568 （7）
合 計			12,038 （92）

※前年度富山管内参加者 （137）

(別表3)

事業項目		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
eラーニングサービス	利用者数	275	263	105%	476
	事業所数	49	47	104%	57
標的型攻撃メール予防訓練サービス	参加者数	60	40	150%	72
	事業所数	6	4	150%	8

※eラーニングサービスは1年間で11回実施。各回1社20名まで、何回でも受講可能。実施レポート等のフィードバック有り。
標的型攻撃メール予防訓練サービスは、1年間で11回実施。1社年1回10メールアドレスまで申し込み可能。

2. テレコミュニケーション教育事業

テレコミュニケーション教育事業では、各事業所の社員の皆さまの電話対応スキルやビジネスマナーの向上から更に事業所内指導者育成を目的に年間で23回の研修を開催し延べ313名に参加いただきました。

また、クレーム電話対応力向上セミナーのカスハラ対策コースでは、企業等に対しカスハラ防止のため、雇用管理上、必要な措置を講じることが義務付けられる法改正（2026年10月施行）に沿う内容にリファインするなど受講者の知識向上とスキルアップに寄与いたしました。

事業項目		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
電話応対等研修	参加者数	313	328	95%	318
	実施回数	23	24	96%	27
電話応対コンクール関連 【講師】I.S.K 市井啓子氏 事務所経田 経田博子氏	参加者数	86	64	134%	86
	実施回数	4	4	100%	4
電話応対技能検定関連 【講師】事務所経田 経田博子氏	参加者数	50	80	63%	59
	実施回数	8	8	100%	11
新入社員等電話応対ビジネスマナー 【講師】I.S.K 市井啓子氏 事務所経田 経田博子氏	参加者数	107	104	103%	90
	実施回数	6	6	100%	6
クレーム電話対応力向上セミナー 【講師】ビコーズ社 松尾友子氏 佐藤久美子氏	参加者数	70	80	88%	83
	実施回数	5	6	83%	6
契約講師派遣紹介	参加者数	177	178	99%	180
	実施回数	3	4	75%	4

※参加者数は延べ人数

地区協会		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
富山地区協会	参加者数	167	163	102%	165
	事業所数	44	44	100%	35
高岡地区協会	参加者数	52	90	58%	75
	事業所数	17	23	74%	23
両砺地区協会	参加者数	24	31	77%	26
	事業所数	6	11	55%	9
新川地区協会	参加者数	13	11	118%	29
	事業所数	8	7	114%	10
一般・その他	参加者数	57	33	173%	23
	事業所数	24	17	141%	14
合 計	参加者数	313	328	95%	318
	事業所数	99	102	97%	91

※参加者数、事業所数は延べ数

両砺地区協会関連		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
電話応対等研修	参加者数	24	31	77%	26
	事業所数	6	11	55%	9
電話応対コンクール関連	参加者数	14	12	117%	6
	事業所数	1	2	50%	1
電話応対技能検定関連	参加者数	1	1	100%	0
	事業所数	1	1	100%	0
新入社員等電話応対ビジネスマナー	参加者数	6	12	50%	10
	事業所数	3	6	50%	5
クレーム電話対応力向上セミナー	参加者数	3	6	50%	10
	事業所数	1	2	50%	3

(1)電話対応コンクール

「2025年度電話対応コンクール第50回富山県大会」では、節目の記念大会として昨年を上回る県内11事業所様から23名の参加を頂きました。県大会前に実施した「リモート模擬体験会」では、参加者の対応模様の録音を講師が評価し、録音内容と合わせてフィードバックを行うなど参加者自身の対応に“気づき”を促すことで着実なスキルアップと参加事業所様の職場の対応品質向上にも寄与する取り組みを展開いたしました。

事業項目		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
電話対応コンクール富山県大会	参加者数	23	19	121%	24
	事業所数	11	9	122%	10

◆ 2025年度電話対応コンクール第50回富山県大会入賞者

順位	お名前	会社名
優勝	松原 希望 さん	池田模範堂
準優勝	古賀 彩 さん	北陸銀行
3位	石川 歌乃 さん	富山信用金庫
優秀賞	田中 麻椰 さん	三井住友海上火災保険
優秀賞	伊藤 史織 さん	富山第一銀行

※第64回全国大会入賞者
(11/14 仙台市:仙台プラザホール)

優 勝 柴山 順子さん (奈良県代表)
株式会社サロンドロワイヤル
準優勝 島袋 幸恵さん (東京都代表)
みずほ証券株式会社

県大会で優勝した 松原 希望さん（池田模範堂）は富山県代表として「第64回電話対応コンクール全国大会 in 仙台」に出場しこれまで培ったスキルを発揮していただきました。

(2)電話対応技能検定(もしもし検定)

電話対応スキル向上や社会人として必要なビジネスマナーの向上など社員育成、及び各事業所内指導者育成を目的とし、各企業のCS（顧客満足）経営に直結する資格取得の場として取り組みましたが、前年度は申し込み事業所数の減少に伴い受験者数も減少いたしました。基本的な電話対応を身につけるだけでなく、相手や場面、コミュニケーションツール（メール、SNS、Web会議等）に応じて臨機応変に対応できる能力を高める本検定の特長を訴求し、参加企業の裾野を拡大していくことが重要です。

事業項目		①2025年度	②2024年度	①／②	2023年度
電話対応技能検定(2級)	受験者数	3	0	—	3
	合格者数	0	0	—	2
	事業所数	3	0	—	3
電話対応技能検定(3級)	受験者数	22	38	58%	27
	合格者数	12	13	92%	7
	事業所数	7	13	54%	9
電話対応技能検定(4級)	受験者数	25	42	60%	28
	合格者数	19	32	59%	22
	事業所数	4	9	44%	7

※電話対応技能検定 指導者級及び1級の受験者はいませんでした。

3. 協会基盤の強化(会員拡大の取組み等)

(1) 会員組織の強化

2025年度は、これまでの支部理事会に加え、4地区協会会則の変更により地区協合理事会を開催し、改めて協会の事業内容を説明させていただくとともに、役員の皆様から今後の活動に資するご意見をいただきました。

(2) イベント等情報の周知と新規会員獲得の取組み

イベント周知及び新規会員獲得については、支部ホームページへの情報掲載、メールによるご案内を送信し各種セミナーのご利用をお勧めするほか、各商工会議所・商工会の会報誌折込サービスを積極的に活用し展開しましたが、2025年度末の富山支部内会員数は444会員となり、前年度末より8会員減少しました。

全国的に会員減少傾向の中で、富山支部の対前年増減率は第4位（47支部中）でした。

組 織		①2025	②2024	①－②	①／②	2023	2022
富山支部	年度末会員数	444	452	▲ 8	98.2%	458	479
	入会数	11	12	▲ 1	91.7%	9	12
	退会数	19	18	1	105.6%	30	21
富山地区協会	年度末会員数	219	226	▲ 7	96.9%	229	241
	入会数	3	7	▲ 4	42.9%	4	8
	退会数	10	10	0	100.0%	16	10
高岡地区協会	年度末会員数	105	105	0	100.0%	107	115
	入会数	4	3	1	133.3%	3	4
	退会数	4	5	▲ 1	80.0%	11	7
両砺地区協会	年度末会員数	53	53	0	100.0%	53	52
	入会数	3	1	2	300.0%	1	0
	退会数	3	1	2	300.0%	0	0
新川地区協会	年度末会員数	67	68	▲ 1	98.5%	69	71
	入会数	1	1	0	100.0%	1	0
	退会数	2	2	0	100.0%	3	4
(参考) 全国	年度末会員数	32,694	34,441	▲ 1,747	94.9%	36,304	37,981
	入会数	662	669	▲ 7	99.0%	646	666
	退会数	2,409	2,532	▲ 123	95.1%	2,323	2,760

2025年度
両 砺 地 区 協 会 収 支 計 算 書
自 2025年4月1日 ～ 至 2026年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

(参考)

勘 定 科 目		2025年度決算額	2025年度予算額	差 異	2025年度決算額
大 科 目	中 科 目	①	②	①-②	富山支部
会 費 収 入		150,000	147,000	3,000	0
	・会費収入	150,000	147,000	3,000	0
事 業 収 入 (業 務 提 携)		0	0	0	5,498,150
	・電話応対競技会収入				2,042,879
	・セミナー等収入				2,895,327
	・電話応対技能検定収入				65,020
	・事業共通収益				494,924
雑 収 入		69	0	69	865
	・受取利息	69	0		865
内 部 取 引 収 入		0	0	0	808,000
					808,000
当期収入合計(A)		150,069	147,000	3,069	6,307,015
前期繰越収支差額		228,021	228,021	0	2,371,813
収入合計(B)		378,090	375,021	3,069	8,678,828

【支出の部】

勘 定 科 目		2025年度決算額	2025年度予算額	差 異	2025年度決算額
大 科 目	中 科 目	①	②	①-②	富山支部
事 業 費		0	0	0	4,945,686
	・電話応対競技会費				2,042,878
	・セミナー等費				2,836,589
	・電話応対技能検定費				66,219
管 理 費		48,864	24,500	24,364	954,317
	・会議費	31,364	7,000	24,364	41,850
	・評議員理事会費	31,364	7,000	24,364	41,850
	・諸経費	17,500	17,500	0	912,467
	・会費等負担金	17,000	17,000	0	0
	・その他経費等	500	500	0	111,724
	・通信運搬費				206,800
	・消耗品・印刷費等				593,943
内 部 取 引 費		86,186	90,000	△ 3,814	681,236
	・運営資金等支出等	86,186	90,000	△ 3,814	681,236
当 期 支 出 合 計 (C)		135,050	114,500	20,550	6,581,239
当 期 収 支 差 額 (A) - (C)		15,019	32,500	△ 17,481	△ 274,224
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B) - (C)		243,040	260,521	△ 17,481	2,097,589
支 出 合 計		378,090	375,021	3,069	8,678,828

資 産 の 部			負 債 の 部		
勘 定 科 目			勘 定 科 目		
大 科 目	中 科 目	金 額	大 科 目	中 科 目	金 額
流 動 資 産	現 金	0	流 動 負 債		0
	普 通 預 金	35,415			
	未 収 金	3,000			
	内部貸付金	204,625			
流 動 資 産 合 計		243,040	負 債 合 計		0
その他 固定資産		0	正 味 財 産 の 部		
			正 味 財 産	正 味 財 産	243,040
その他固定資産 合計		0	正 味 財 産 合 計		243,040
資 産 合 計		243,040	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計		243,040

2025年度

両 砺 地 区 協 会 財 産 目 録

2026年3月31日 現在
(単位：円)

【両砺地区】

勘 定 科 目		
大 科 目	中 科 目	金 額
流 動 資 産	現 金	0
	普 通 預 金	35,415
	北陸銀行福野支店	35,415
	未 収 金	3000
	会費	3000
	内部貸付金	204,625
そ の 他 固 定 資 産		0
資 産 合 計		243,040
流 動 負 債		0
負 債 合 計		0
正 味 財 産		243,040

2025 年度 会計検査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会南砺地区協会の 2025 年度
(2025 年4月1日から2026 年3月31日)における業務及び会計について、
検査の結果、適正かつ正確であると認めたことを報告します。

2026 年 5 月 22 日

監 事 太平株式会社

取締役 相談役 石 崎 直 樹



監 事 南砺市役所

総務課長

吉 本 幸 治



【第2号議案】

2026年度事業計画（案）

2026年度における当支部の事業活動は、公益財団法人としての2大公益事業である「ICT活用推進事業」及び「テレコミュニケーション教育事業」の普及拡大を図り地域社会の発展に貢献するため各種施策や会員サービスの充実等に引き続き取り組んでまいります。

更に、新規会員の拡大や会員離れを抑止するため、4地区協会の様々な事業所様のご意見やご要望をお伺いしながら地域発展につながる取り組みを継続していきたいと考えております。

「ICT活用推進事業」については、当協会本部主催の全国型オンラインセミナー／講座をさらに活用し新たなICTサービスの最新情報をお届けするほか、各種団体等の皆さまと連携し、世間で注目されているサービスを身近に感じていただくセミナー等を展開し地域の皆さまに分かりやすく情報発信を実施していくこととします。

「テレコミュニケーション教育事業」については、電話対応系講習などこれまで培ったベース事業を更に品質向上を図り拡大していくとともに、地域の事業所様と一体となった更なるお客様満足度（CS）向上を標榜する取り組みにも着手して参りたいと考えております。また、これまでのFace to Faceで行ってきた講習にオンラインによるリモート講習の導入、電話対応コンクール等の実技研修にAI機能を活用するなど、新たな取り組みにも着手していきたいと考えております。

上記の活動を具体的に展開するためには、まず会員事業所様等との接点を拡大し当協会に対するご意見やご要望をお伺いすることが重要と考えております。

更に当協会のプレゼンス向上を図るため、当協会の取組み等について各地区協会の会員事業所様をはじめ一般事業所様にもわかりやすく効果的な情報発信を進めていきたいと考えております。また、これまで以上に富山支部内の各商工会議所様・商工会様等との連携強化等を図り、協会会員のみならず商工会議所等会員の方々にも社員教育や事業発展に資する情報発信、活動の展開を図って参ります。

2026年度の主な各種施策及び取組みのスケジュールは別紙のとおりです。

別 紙

2026年度 富山支部（地区協会含む）年間スケジュール（案）

（公財）日本ICTテレコムユーザー協会 富山支部

No	区分	事業項目	実施時期等
1	ICT推進事業	◆商工会議所・商工会連携セミナー＜ハイブリッド／オンライン＞	第2四半期／第3四半期
		◆ICT経営セミナー＜NTT西日本富山支店共催＞	第3四半期
		◆全国型オンラインセミナー（本部主催）への参画	通年（12回）
		◆e-ラーニング研修サービス（会員無料特典）の提供	通年（11回）
		◆標的型攻撃メール予防訓練サービス（会員無料特典）の提供	通年（11回）
		◆会報誌「テレコム・フォーラム」によるICT活用事例紹介	通年
		◆ゆ〜協メール（富山） ※セミナー等のイベント案内	通年（随時）
2	テレコミュニケーション教育事業	◆新入社員等ビジネスマナーセミナー＜集合形式＞	4月 7日（富山会場） 4月 8日（高岡会場） 4月13日（新川会場） 4月14日（両砺会場）
		◆2026年度電話応対コンクール ○基礎研修会の実施 ○模擬体験会の実施（リモート方式） ○強化研修会（富山・高岡） ○富山県代表選考会（富山商工会議所） ◎第65回全国大会（福岡市：福岡シンフォニーホール）	6月23日 7月22日 9月8日（富山） 9月9日（高岡） 10月6日 11月13日
		◆クレーム電話応対力向上セミナー＜オンライン＞ ・基礎コース ・上級コース ・カスハラ対策コース	2027年1月（予定）
		◆電話応対技能検定（もしもし検定：富山会場） □2級検定 （6月） □3級検定 （9月・'27年3月） □4級検定 （5月・7月・11月・'27年1月）	※検定日は各月第1水曜日
3	会員拡大	◆チラシ折込サービス、セミナーを活用した会員拡大の取組み等 ※セミナーのお申込みに合わせ入会誘導	通年
4	会議等	◆富山支部定期理事会	
		・2025事業報告・決算報告 ・2026事業計画（案）・収支予算（案）	7月6日
		◆地区協会定期総会	
		・2025事業報告・決算報告 ・2026事業計画（案）・収支予算（案）	7月実施予定
5	その他	◆電話応対マナー研修の講師派遣 契約講師派遣（有料にて提供）	通年
		◆タイムリーな情報発信・事業案内等	

2026年度
両 砺 地 区 協 会 収 支 予 算 書（案）

自 2026年4月1日 ～ 至 2027年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

勘 定 科 目		2026年度予算額	2025年度予算額	差 異
大 科 目	中 科 目	①	②	①－②
会 費 収 入		153,000	147,000	6,000
	・ 会員会費収入	153,000	147,000	6,000
事 業 収 入		0	0	0
	・ セミナー等収入	0	0	0
雑 収 入		0	0	0
	・ 受取利息	0	0	0
内 部 取 引 収 入		0	0	0
当 期 収 入 合 計 (A)		153,000	147,000	6,000
前 期 繰 越 収 支 差 額		243,040	228,021	15,019
収 入 合 計 (B)		396,040	375,021	21,019

【支出の部】

勘 定 科 目		2026年度予算額	2025年度予算額	差 異
大 科 目	中 科 目	①	②	①－②
事 業 費		0	0	0
	・ セミナー等費	0	0	0
管 理 費		48,500	24,500	24,000
	・ 会議費	31,000	7,000	24,000
	評議員理事会費	31,000	7,000	24,000
	・ 諸経費	17,500	17,500	0
	会費等負担金	17,000	17,000	0
	その他経費	500	500	0
内 部 取 引 費		60,000	90,000	△ 30,000
	・ 運営資金等	60,000	90,000	△ 30,000
当 期 支 出 合 計 (C)		108,500	114,500	△ 6,000
当期収支差額(A)－(C)		44,500	32,500	12,000
次期繰越収支差額(B)-(C)		287,540	260,521	27,019
支 出 合 計		396,040	375,021	21,019

【第3号議案】

両砺地区協会理事等の任期は2年であり、本年の理事会までであることから、会則第10条3項、第11条、第13条並びに第15条第2項に基づき、以下役員等の選任について承認をお願いいたします。

(敬称略)

役 職	氏 名	所属会社（事業所）役職名	選任区分等
会 長	川 合 声 一	南砺市商工会 会長 日の出屋製菓産業株式会社 代表取締役会長	再 任
副 会 長	松 本 昭 浩	砺波信用金庫 理事長	再 任
理 事	上 田 和 弘	砺波市 企画総務部 DX推進課長	再 任
監 事	石 崎 直 樹	太平株式会社 取締役 相談役	再 任
監 事	吉 本 幸 治	南砺市 総務部 次長 総務課長	新任（片田 健一）
事 務 局 長	石村 真由美	南砺市商工会 事務局長	再 任

顧 問	瓜 生 知 史	NTT西日本富山支店長	—
参 与	森 原 響 子	NTT西日本富山支店 ビジネス営業部長	—

※参与 松原 昌大氏はNTT西日本富山支店の組織変更等により退任されました。

(参考) (公財) 日本ICTテレコムユーザー協会両砺地区協会会則抜粋

(役職と選任)

第10条

3 地区協会理事及び地区協会監事（以下「地区協会理事等」という。）は、地区協会理事会において選任する。

(地区協会会長及び地区協会副会長の選任)

第11条 地区協会会長及び地区協会副会長は、地区協会理事会において選任する。

(地区協会理事等の任期)

第13条 地区協会理事等の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(地区協会顧問)

第15条

2 地区協会顧問及び参与は、地区協会理事会において選任する。

【報告事項】

協会名称の変更について

情報通信技術・サービスを利用したコミュニケーション文化振興を図るとともに、利用者の利便性増進に寄与し、地域社会の発展に貢献することを目的に、当協会の事業の中心である「テレコミュニケーション教育事業」および「ICT活用推進事業」に取り組んできたところであるが、事業環境の変化を踏まえ、事業内容をより明確に協会名称に反映させるため、以下のとおり協会名称を変更しましたのでご報告申し上げます。

1. 新名称

【新名称】 公益財団法人 日本ICTテレコムユーザー協会

【英語表記】 Japan ICT Telecom Users Association

2. 変更時期 2026年7月1日

3. その他(附則)

(公財)日本電信電話ユーザ協会の規定・規則・会則等は、新たな名称である(公財)日本ICTテレコムユーザー協会の規定・規則・会則等として引き継ぐものとし、協会名称の表記は読み替えるものとします。

4. 新たなCI

